

第2回中央委員会

～「年末一時金、2015年秋季年末闘争、京交独自要求書」について確認がされた。～

二〇一五年十月二十八日(水)アーケホテルで第二回中央委員会が開催された。冒頭、瀬戸高志執行委員長が、十月に開催された京交第八十八回定期大会及び、京交再建七〇周年記念祝賀会が成功裡に終えた事に感謝を述べられた後、安倍政権の暴走が止まらない。安保法案の強行採決に留まらず、沖縄へのこの米軍基地問題でも、国が県や市を無視し、直接自治体へ働きかけ、寄付金を提示するなどし、強行に基地建設を行おうとしている。正に異常事態である。その他に、国は、人事院勧告を尊重せず、給与構造見直しについても地方公務員に圧力を掛けていく。我々は断じて安倍政権の暴走を止めなくてはならない。更に、京都で議席を増やしている維新の党にも注視が必要である。十一月に大阪のW選挙への関心を強めて欲しい。今日の中央委員会でこの議題について真摯な議論をお願いする」と挨拶に立られた。続いて、報告事項に入り、日程や自治労関係。また、市労連関係では、十一月十日に山場を迎える賃金確定闘争について報告がされた。そして、対局関係、共済組合関係が報告された。次に、本局支部、電整支部のレクリエーション報告がされた。議案事項では、年末一時金、二〇一五年秋季年末闘争方針、京交独自要求書が提案され全員で確認がされた。むすびに秋闘の勝利を全員で確認し第二回中央委員会が閉会した。



レクリエーション報告をする本局支部 大久保隆洋副支部長



レクリエーション報告をする電整支部 福元俊介副支部長



挨拶をされる瀬戸高志執行委員長



京都交通労働組合

電話(075)841-0948

発行者 瀬戸高志

編集者 梅田涼

各種委員会レジメ

2015.10.7
京交組合本部

第5回 執行委員会

報告事項

1. 自治労関係
 - (1) 府本部四役会議及び第1回拡大執行委員会の開催について (別紙)
2. 市労連関係
 - (1) 第1回執行委員会及び団体交渉について (別冊)
3. 対局関係
 - (1) 地下鉄に乗って「上・中・右京」ふれあいまつりリレー!」について (別紙)
 - (2) 京都やんちゃフェスタ2015×地下鉄「子どもたちの願いを乗せて(第1部)」絵画列車の運行について (別紙)
 - (3) 若年嘱託職員に係る選考採用試験について (別紙)
 - (4) 指導運転士登用試験の実施について (別紙)
 - (5) 第2回お客様獲得戦略会議について (別冊)
 - (6) 健康管理ノートの発行について (別冊)
4. その他
 - (1) 本局支部レクリエーション活動報告 (別紙)
 - (2) 電整支部レクリエーション活動報告 (別紙)

2015.10.20
京交組合本部

第6回 執行委員会

報告事項

1. 11月日程について (別紙)
2. 自治労関係
 - (1) 府本部青年部第49回定期大会の開催について (別紙)
 - (2) 給付型奨学金制度の導入・拡充と教育費負担の軽減を求める署名の取り組み要請について (別紙)
3. 市労連関係
 - (1) 第2回執行委員会及び団体交渉について (別紙)
4. 対局関係
 - (1) 「公共交通利用促進『嵐電・市バスに乗って大丸に行こう!』」の発売について (別紙)
 - (2) 地下鉄今出川駅の「ファミリーマート」オープンについて (別紙)
 - (3) 山科駅構内(コトチカ山科区画A)への出店事業者の募集について (別紙)
 - (4) 地下鉄烏丸線可動式ホーム柵の京都駅の供用開始について (別紙)
 - (5) 「地下鉄に乗って」ポスターコラボレーション企画2nd Seasons 第2弾(京都コンサートホール)について (別紙)
 - (6) 若年嘱託採用試験の募集結果について (別紙)
5. 共済組合関係
 - (1) 被用者年金制度一元化に伴う標準報酬制の導入に併せた各種制度の取扱いの変更について (別紙)

議案事項

1. 2015年秋季年末闘争方針について (別冊)
2. 2015京交独自要求書について (別紙)
3. 年末一時金等要求書について (別紙)
4. 烏丸支部レクリエーションについて (別紙)
5. アルバイト書記の採用について (別紙)
6. その他

2015.10.28
アーケホテル京都

第2回 中央委員会

執行委員長挨拶

報告事項

1. 11月日程について (別紙)
2. 自治労関係
 - (1) 第1回執行委員会について (別紙)
 - (2) 府本部第49回定期大会の開催について (別紙)
 - (3) 給付型奨学金制度の導入・拡充と教育費負担の軽減を求める署名の取り組み要請について (別紙)
3. 市労連関係
 - (1) 第2回執行委員会について (別冊)
4. 対局関係
 - (1) 若年嘱託職員に係る選考採用試験について (別紙)
 - (2) 京都バス株式会社のICカードシステムの導入について (別紙)
 - (3) 関西西ワンの発売について (別紙)
 - (4) 平成27年度「秋のおもてなしキャンペーン」について (別紙)
 - (5) 「公共交通利用促進『嵐電・市バスに乗って大丸に行こう!』」の発売について (別紙)
 - (6) 地下鉄今出川駅の「ファミリーマート」オープンについて (別紙)
 - (7) 山科駅構内(コトチカ山科区画A)への出店事業者の募集について (別紙)
 - (8) 地下鉄烏丸線可動式ホーム柵の京都駅の供用開始について (別紙)
 - (9) 「地下鉄に乗って」ポスターコラボレーション企画2nd Seasons 第2弾(京都コンサートホール)について (別紙)
 - (10) 京都市バス「おもてなしコンシェルジュ」の活動開始について (別紙)
 - (11) 市バス・地下鉄における外国人観光客へのコミュニケーションツールの配備について (別紙)
 - (12) 「京都ぶらぶらOSAKA PiTaPa」入会キャンペーンの実施について (別紙)
 - (13) 「大丸」を活用した「京都検定」と「地下鉄利用促進」のPR連携について (別紙)
 - (14) 施保者同伴の幼児連立全員無料化の拡大実施について (別紙)
5. 共済組合関係
 - (1) 被用者年金制度一元化に伴う標準報酬制の導入に併せた各種制度の取扱いの変更について (別冊)
6. その他
 - (1) 市バス・地下鉄券種別旅客数の推移について (別紙)
 - (2) 本局支部レクリエーション活動報告 (別紙)
 - (3) 電整支部レクリエーション活動報告 (別紙)

議案事項

1. 年末一時金等要求書について (別紙)
2. 2015秋季年末闘争方針について (別冊)
3. 2015京交独自要求書について (別紙)
4. アルバイト書記の採用について (別紙)
5. その他

・一面・

- ・第2回中央委員会
- ・各種委員会レジメ
- ・団体交渉報告

・二面・

- ・2015秋季年末闘争方針

・三面・

- ・2015秋季年末闘争方針
- ・市労連総決起集会
- ・第55回自動車部定期大会
- ・第29回電車部定期大会

・四面・

- ・狭山事件の再審を求める市民集会
- ・教宣部員が潜入取材 御園橋フェスティバル2015 withゆるキャラ取材報告
- ・電整支部レクリエーション活動報告
- ・クロスワードパズル

二〇一五年十一月十三日(金)天神川サンサ右京三階大会議室で団体交渉が行われた。十一月二日(月)年末一時金の要求書提出に続き、京交独自要求書が、瀬戸高志執行委員長から西村隆京都交通局公営事業管理者に手渡された。瀬戸高志執行委員長が「九月の市会では、交通局が高い評価を受けた。これは、紛れもなく組合員の成果である。市労連で厳しい回答がされる中、交通局でできる事を物や形で表して欲しい。組合員の切実な思いに誠意ある回答を求めると強く要望された。松本建次次長から「内容を精査し、誠意ある回答に努めて参ります」とされた。佐田悟書記長が独自要求書の一項目を読み上げた後、中谷文明副執行委員長が「今回に続き、自動車部、電車部、本局支部が要求書を提出する。これについても組合員のモチベーション向上に繋がるような誠意ある回答を求めるとされた。その後、九月市会でも、交通局にされた質疑応答の内容が報告された。締め、瀬戸高志執行委員長が「国の圧力に怒りを覚える。給与構造見直しの波及や住居手当の見直しなど、一五〇〇人の組合員は苦しい状況に追い込まれている。口だけではない回答を強く求めたい。また、被服について見直しの時期に来ているのではないか。前向きな検討を求める」とされ、団体交渉が終了した。



・・・要求書の提出がされた。・・・



・・・団体交渉に挑む京交執行委員・・・

団体交渉報告

組合員の切実な状況を訴え、要求書10項目を提出。当局に誠意ある回答を強く求めた。

の施策を実施すること。

- (1) 3 昇格制度
 - ① 企業職給料表第一適用職員から、企業職給料表第一適用職員への登用制度を改善すること。
 - ② 企業職給料表第五適用職員の昇格制度を改善すること。
 - ③ 二級への昇格基準を改善すること。
 - ④ 三級への昇格基準並びに欠格条項を改善すること。
 - ⑤ 現業職から事務職への積極的な登用を行うこと。
- (2) 4 定期昇給
 - ① 勤勞意欲を増進させる昇給制度(六〇歳まで)を構築すること。
- (3) 5 諸手当
 - ① 通勤手当については、通勤に係る費用の全額を支給すること。また、早朝・深夜勤務に従事する職員で、公共交通機関を利用して通勤できない者に対しては、何らかの措置を速やかに講じること。
 - ② 通勤用具使用料の増額を図ること。
- (4) 6 勤務制度関連
 - ① 徹底した勤務時間管理体制と実効ある超勤規制を確立させるとともに、年間総労働時間の削減のための施策を講じること。特に、変則勤務職場においては、完全週休二日制等を基本とした公休日数の改善に向けた見直しを図ること。
 - ② 休暇制度の新設・改善および、自己啓発、自己実現や社会貢献を促進するための休業制度の新設すること。
 - ③ 業務上運転事故に係る、局内処分の欠格条項を廃止すること。
 - ④ 年次有給休暇完全取得に向け、人員配置の抜本的な見直しを行うこと。
- (5) 7 職場環境
 - ① お客様サービス全国一をめざす上で、男女がともに安心して働きやすい全国一の職場環境を整備すること。
 - ② 受動喫煙対策を速やかに講じること。
 - ③ 労働災害防止の観点からも、事業所安全衛生委員会の活動を充実させるとともに、メンタルヘルスを未然に防ぐための対策を早急に講じること。
- (6) 8 使用者責任において、福利厚生を充実させること。また、健康保険組合解散に伴う諸課題の解決に努めること。
- (7) 9 組合員の更なる範囲拡大に努めること。
- (8) 10 労使間で締結した労働条件等については、法の定めに従い何よりも優先させるとともに、理不尽な支配介入については断固阻止すること。
- 四、むすび

以上、二〇一五秋季年末闘争方針を提起しました。

この秋闘方針は、十月九日に開催した第八十八回定期大会を補強する策として提案するものです。

また、京交独自要求事項については、大会での方針討議の内容を加味し、執行委員会での議論を経て決定したものです。今後は、この独自要求を団体交渉で当局側に提出し、要求実現に向け取り組みの強化を図ることとします。これから本格化する秋季年末闘争も、かけがえのない職場と愛する家族の生活を守るため、組合員一丸となって闘い抜いていきたいと思います。

市労連総決起集会

給与制度の総合的見直し・住居手当の段階的廃止・50歳合の給与問題など
 厳しい回答。交渉は各単組に移行された。

二〇一五年十一月十日(火)市役所前広場で、市労連傘下構成単組の最大動員のもと約一〇〇〇人が集結し、「二〇一五年度賃金確定闘争勝利市労連決起集会」が開催された。

十月十六日に「年末一時金等要求書」が提出され、回答交渉では、勧告に基づく月例給等のプラス改定が示された一方で、給与制度の総合的見直しや、住居手当の段階的廃止、五〇歳合の職員給与水準及び制度について検討するとされ、「単なる引き下げに繋がる見直しはやめよ」などの要請が重ねられたが、現時点での精一杯の回答と判断し大綱妥結された。回答の背景には、政令都市でも複数の都市で「給与制度の総合的見直し」が四月から実施され、国からの圧力が強まっている。集会の単組報告では、京交から堂下直也電車副部長が「公共職場で働く労働者の雇用を安定させ、市民サービスの向上させるため、京交は、市労連の皆さんと共に、賃金労働条件の改善・阻止に向け、本確定闘争に全力で取り組む」と力強く述べ、決起集会を盛り上げました。最後に、要求実現に向けて松田(京水労)市労連委員長の発声のもと「団結ガンバロウ」で決起集会を締め括った(詳細は市労連情報をご参照ください)。



決意表明をされた堂下直也副電車部長

第29回 電車部 定期大会

二〇一五年十月二十一日(水)、ハートピア京都に於いて第二十九回電車部定期大会が開催され、過去一年間の活動報告と今年度の運動方針が討議された。司会の今田賢吾支部長(駅務支部)による開会の辞に続き、来賓と役員紹介がされた。その後、辻井啓典電車副部長が「日頃は地下鉄の運営にご尽力頂きありがとうございます。コトキンライナー、四条駅のホーム可動柵運用開始にあたって問題なく運営出来ているのは、組合員の業務に対する真摯な姿勢のおかげです。お客様は、順調に増えていきます。今後は増えていくお客様に対してどう対応していくのか考えながら運営していきたいと思っております。」と挨拶された。続いて、議長に白岩謙太郎代議員(電整支部)が選出された。来賓は、瀬戸高志執行委員長と伴野敏之副委員長が出席され、大会の成功を祈念された。その後、梅田涼自動車副部長が二〇一四年の活動報告を行い、「最高の公共交通でおもてなし」を基に、二〇一五年度京都交通労働組合活動方針が確認された。

二〇一五年十月十八日(金)ラポール京都四階会議室において、京都交通労働組合自動車部第五十五回定期大会が、四支部から代議員三十五人が参加し、開催された。冒頭、山本保自動車部長が大きく五点について述べられ、今後の自動車部の取り組みについて説明し、挨拶された。また、来賓には、本部から、瀬戸高志執行委員長、伴野敏之副委員長が出席され、大会の成功を祈念された。その後、梅田涼自動車副部長が二〇一四年の活動報告を行い、「最高の公共交通でおもてなし」を基に、二〇一五年度京都交通労働組合活動方針が確認された。

二〇一五年十月二十一日(水)、ハートピア京都に於いて第二十九回電車部定期大会が開催され、過去一年間の活動報告と今年度の運動方針が討議された。司会の今田賢吾支部長(駅務支部)による開会の辞に続き、来賓と役員紹介がされた。その後、辻井啓典電車副部長が「日頃は地下鉄の運営にご尽力頂きありがとうございます。コトキンライナー、四条駅のホーム可動柵運用開始にあたって問題なく運営出来ているのは、組合員の業務に対する真摯な姿勢のおかげです。お客様は、順調に増えていきます。今後は増えていくお客様に対してどう対応していくのか考えながら運営していきたいと思っております。」と挨拶された。続いて、議長に白岩謙太郎代議員(電整支部)が選出された。来賓は、瀬戸高志執行委員長と伴野敏之副委員長が出席され、大会の成功を祈念された。その後、梅田涼自動車副部長が二〇一四年の活動報告を行い、「最高の公共交通でおもてなし」を基に、二〇一五年度京都交通労働組合活動方針が確認された。



挨拶をされる辻井啓典電車部長



～会場の様子～

第55回 自動車部 定期大会

二〇一五年十月十八日(金)ラポール京都四階会議室において、京都交通労働組合自動車部第五十五回定期大会が、四支部から代議員三十五人が参加し、開催された。冒頭、山本保自動車部長が大きく五点について述べられ、今後の自動車部の取り組みについて説明し、挨拶された。また、来賓には、本部から、瀬戸高志執行委員長、伴野敏之副委員長が出席され、大会の成功を祈念された。その後、梅田涼自動車副部長が二〇一四年の活動報告を行い、「最高の公共交通でおもてなし」を基に、二〇一五年度京都交通労働組合活動方針が確認された。

二〇一五年十月十八日(金)ラポール京都四階会議室において、京都交通労働組合自動車部第五十五回定期大会が、四支部から代議員三十五人が参加し、開催された。冒頭、山本保自動車部長が大きく五点について述べられ、今後の自動車部の取り組みについて説明し、挨拶された。また、来賓には、本部から、瀬戸高志執行委員長、伴野敏之副委員長が出席され、大会の成功を祈念された。その後、梅田涼自動車副部長が二〇一四年の活動報告を行い、「最高の公共交通でおもてなし」を基に、二〇一五年度京都交通労働組合活動方針が確認された。

二〇一五年十月十八日(金)ラポール京都四階会議室において、京都交通労働組合自動車部第五十五回定期大会が、四支部から代議員三十五人が参加し、開催された。冒頭、山本保自動車部長が大きく五点について述べられ、今後の自動車部の取り組みについて説明し、挨拶された。また、来賓には、本部から、瀬戸高志執行委員長、伴野敏之副委員長が出席され、大会の成功を祈念された。その後、梅田涼自動車副部長が二〇一四年の活動報告を行い、「最高の公共交通でおもてなし」を基に、二〇一五年度京都交通労働組合活動方針が確認された。



挨拶をされる山本保自動車部長



～団結ガンバロウで締めくくった～

狭山事件の再審を 求める市民集会

十月三十日(金)午後一時から東京・日比谷野外音楽堂で狭山事件の再審を求める市民集会が開かれました。解放共闘より議長、事務局長、伴野事務局長(京交)の三人が参加しました。この事件は、一九六三年五月一日に埼玉県狭山市で女子高校生が殺害され、石川一雄さんが犯人として逮捕されました。一審で死刑判決。二審での東京高裁の無期懲役判決から四十一年が経ちました。石川さんは冤罪を叫びつづけて五十二年、半世紀以上が過ぎています。仮出獄後も無実を叫び続け、二〇〇六年五月、東京高裁に第三次再審請求を申し立て、再審開始・無罪判決を求めています。この事件では、これまで一度も鑑定人の尋問などの事実調べが行われていません。二〇〇九年九月から始まった証拠開示で発見された新証拠により有罪判決の誤りが次々と明らかになっていきます。証拠開示された取り調べ録音テープには、自白が取調官の誘導によってつくられた虚偽自白であることをはっきり示しています。有罪証拠のねつ造も証拠開示で浮かび上がっています。弁護団は新証拠をこれまでに一七七点提出し、事実調べを裁判所に求めています。そこで私たちは、東京高裁・植村稔裁判長に弁護団が求める更なる証拠開示と事実調べ・再審開始を求める世論をさらに大きくしていきたいとの思いで集会に参加しました。集会後、全国から集結した参加者とともに、日比谷野外音楽堂からシブプレヒコールを練り返しながらかつらぎ、荊冠旗を掲げて世論喚起を行い、銀座通りを東京駅までデモ行進をして訴えをしました。



・・・デモ行進・・・



50年間以上無罪を訴える石川さん



・・・会場の様子・・・

教宣部員が潜入取材 御園橋フェスティバル二〇一五 Withゆるキャラ取材報告

十月十八日(日)に北区の御園橋商店街において、御園橋フェスティバル二〇一五Withゆるキャラが行われました。通りを歩行者天国にして、地域住民や団体、商店等がお店を出して、大勢のお客様で賑わいを見せていました。フェスティバルでは、京都産業大学による楽隊パレードが行われ、京都のゆるキャラが勢ぞろいし、子供たちの人気を集めていました。通り二か所に舞台(演技場)がありプログラムが組まれ、地域のサークルや学校のクラブの方々が、日頃の練習の成果を披露するなどして盛り上がりました。今回は西賀茂営業所が、フェニックス号を一日展示し、支部エンパワメント活動として、運転士体験や記念撮影会、そして、交通局グッズの販売の手伝いをしていました。盛況の中、この日は、気温が高く、皆さん汗を掻きながら、対応に追われていました。メインのプログラムに、チーム対抗玉入れ競争があり、我がが、京交西賀茂支部は準備と大健闘しました。地域への人情も惜しまず、本気でやる姿は日頃



玉入れイベントに参加。結果は…?



～賑わいを見せる会場の様子～



～エンパワメント活動の様子～

の仕事への熱心な姿勢を感じました。大好評のうちに無事イベントも終了しました。みなさんお疲れ様でした。福本泰市 教宣部員

御園橋フェスティバル二〇一五 Withゆるキャラに参加して

二〇一五年十月十八日(日)「御園橋フェスティバル二〇一五Withゆるキャラ」に参加してきました。御園橋通を一部通行止めにして、屋台や物販など多数の出店し、所々で縄跳び実演などのイベントも行われていました。西賀茂支部がエンパワメント活動で市バスの運転士体験や玉入れ大会などに参加され、おおいに盛り上がりつつありました。いつもは市バスが通る道でゆるキャラパレードが行われ、市バスマスコットキャラクター「京(きょう)ちゃん」も参加し、「かわいー!」と沿道の皆さんも大喜びでした。

晴天に恵まれ、近くの上賀茂神社で「パンフェスティバル」も開催されており、家族連れなど多くのお客様で賑わっていました。毎年行われているイベントなので、是非皆さんも参加してみたい。

堂下 直也 教宣部副部長



～京ちゃんと一緒に～



～京交のハッピーを着て～

脳を鍛える クロスワードパズル

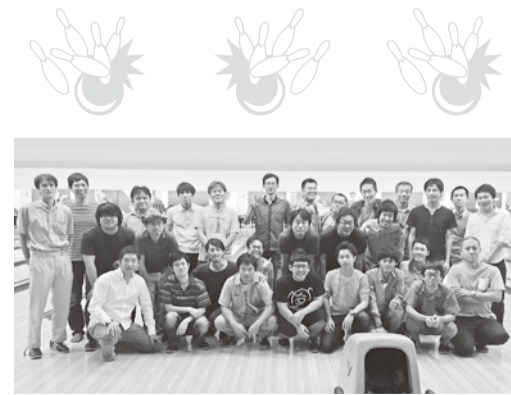
A	1	2		5	7		10	12
	14			15	E			H
	17	C				18		
			D				G	
	21	3			F	22	9	
	23			6				11
	24							25
B								27
	26							

■ AからHまでの文字をならびかえると...

- 「クロスワードパズル」のコーナーです。ちよつと一息!頭の体操してみませんか? AからHまでの八文字をならびかえて一つの言葉にしてください。正解者の中から抽選で三人の方に「全国百貨店共通商品券」千円分をプレゼントします。どしどし応募してください。
- このクロスワードが解けた方は、支部名、コード番号、名前、機関紙に対するご意見ご要望等を記入の上、京交本部教宣部機関紙編集チームまでお送りください。
- 締め切りは十二月二十五日(金) 必着です。なお当選者の発表は次号以降の機関紙「京交」で!
- (タテのカギ)
- 仲の悪い者同士が一緒にいること
 - ↑↓手動
 - 事務処理などをすべてを他人にまかせること
 - 麒麟
 - 合図のための片目のまばたき
 - 曲線
 - ↑↓後(あと)
 - 郵便局に金銭を預けること
 - 〇〇・将棋
 - 魚釣りに使う糸
 - 副食物
 - 元素記号Ag
 - 煮た油揚げの中にすし飯を詰めたもの
 - (ヨコのカギ)
 - 江戸日本橋から京都三条大橋までの宿駅
 - 水をすりつぶして糖蜜などをかけた食品
 - 東京の旧名
 - 人生〇〇に感ず
 - 元素記号P
 - 勤務地に通うこと
 - ↑↓ノン
 - 地球上で水で覆われていない陸の部分
 - 屋根の雨水を集めて地上に流すし
 - 勝利
 - 日が暮れて、しばらくの間
 - セブン
 - 一角獣
 - 三浦知良
 - めぐり合わせ。さだめ
 - 鯖を塩締めしたもの

電整支部 しゅーしゅー活動報告

二〇一五年九月十一日(金) 河原町三条にあるROUND1で、電整支部レクレーション活動として、ボウリング大会を開催しました。勤務終了後や、非番、公休にも関わらず多くの方が参加しました。日頃、仕事での係わりが少ない方もゲームが始まるとすぐに打ち解け、大いに盛り上がりました。また、懇親会では、職場の話題や組合活動に対する意見などを話し合い、とても有意義な活動となり、支部の結束がより強まりました。今後もこのようなレクリエーションを企画して、支部の団結力強化に努めます。



・・・参加者全員で・・・